慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	理工学Information
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2014
Jtitle	新版 窮理図解 No.17 (2014. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000017-0009

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

自分を高めてくれる人との繋がり

柿沼康弘

大学時代の財産といえば、もちろん世界で活躍されている教授の講義を通して得た知識もありますが、異なるバックグラウンドを持つ才能ある人々との出会いや交友関係の広がりがあります。特に研究室で苦楽をともにした友人、先輩、後輩との関係は強く、今でも年に数回は集い、会った時にはまじめな話からくだらない話までとことんします。こういう談笑の中から不思議と自分の研究のたねが湧いてきたり、教育に大事な視点まで見えてきたりします。人からの刺激というのは化学の触媒みたいなもので、その刺激が自分の中に隠れていた発想を呼び起こすのかもしれません。

自分が大学生の頃を思い起こすと、自分で勉強すれば何でも解決できると信じていましたし、自信もありました。読者の皆さんの中にも、私の学生の頃と同じく自分一人で何でもできると考えている人がいるかもしれません。確かに大学までの勉強であれば、どの問題にも必ず解があり一人で解くことができます。ところが「研究」になると、そうはいきませんでした。勉強しても勉強しても解が存在するかどうかもわからない……。こうすれば解ける！という鉄則もないのです。そのような中、私が修士課程で、電気粘着ゲルの開発に成功したのは、当時の研究室の同期、先輩、後輩が異なる観点からの刺激を与えてくれたおかげでした。ここで一つ言いたいことは、ただ相手の意見を求めるだけの他力本願はだめです。まず大事なのは、自分の意見を持つこと、その上で相手の意見を尊重して聞くことです。他者の意見を真剣に考えることは、新しい刺激となり、自分の中に新しい視点や発想を生みだしてくれます。

福澤先生は、本を読むばかりでなく人と接して談笑する間に、互いに知識を交換しあうことも大事だと述べています。ですので、慶應義塾に入学した皆さん、また入学志望の皆さんには、ぜひ人と人との繋がりを大事にして、良い交友関係を築いて広げ、知識の交流を楽しみながら自分自身の可能性を高めていってほしいと願っています。

理 工 学 Information

KEIO TECHNO-MALL 2014
第 15 回慶應科学技術展「育てる産学、育つ夢」

日時：12 月 5 日（金）10：00 ～ 18：00
場所：東京国際フォーラム地下 2 階（展示ホール2）
入場無料　※すべてのイベントで事前登録は不要です。
詳細：http://www.kll.keio.ac.jp/ktm/index.html

理工学部創立 75 年記念特別プログラム

今回は、特別プログラムとして多彩なイベントプログラムをご用意いたしました。様々な分野から魅力的なゲストをお迎えして、熱く語っていただきます。ぜひ、ご参加ください。

10:30 - 11:15	基調講演
	「大学発ベンチャー 37 年 _ 夢とうつつ」
KIF (慶應義塾イノベーションファウンダリー) 設立記念イベント	
11:25 - 12:10	基調講演
	「日本経済の展望：科学技術のイノベーションと産学連携」
KIF (慶應義塾イノベーションファウンダリー) 設立記念イベント	
13:30 - 15:00	トークセッション
	「真に社会が求める革新的産官学連携の姿：実学（サイヤンス）実践のイノベーション拠点」
15:40 - 17:00	ラウンドテーブルセッション
	「病気にならないための健康社会～テクノロジー・イノベーション～」

編集後記

今回の表紙の写真は、手に持って皆様に研究のイメージが伝わるものがないとのことで、機械と人物を別々に撮影し、合成するという新たな試みをいたしました。撮影中はどんな画像になるのかわかりませんでしたが、ご覧いただいたとおり、柿沼先生の研究内容がわかる、素敵な表紙に仕上がりました。

研究室での撮影では、研究室の学生が大勢見学し、先生とも気さくに話をしており、柿沼先生の穏やかな人柄が研究室の雰囲気に反映されているな、と感じました。また、機械を実際に動かしていただき、取材スタッフも興味津々で目を輝かせていました。

（松林真奈美）

新版 窮理図解

No.17　2014　October

75 75th Anniversary Science & Technology Keio University
2014年、理工学部創立75年。

編集　新版窮理図解編集委員会
写真　邑口京一郎
デザイン　八十島博明、石川幸彦（GRID）
編集協力　サイテック・コミュニケーションズ
発行者　青山藤詞郎
発行　慶應義塾大学理工学部
〒 223-8522 横浜市港北区日吉 3-14-1
問い合わせ先（新版窮理図解全般）
kyurizukai@info.keio.ac.jp
問い合わせ先（産学連携）
kll-liaison@adst.keio.ac.jp
web 版　http://www.st.keio.ac.jp/kyurizukai
twitter　http://twitter.com/keiokyuri
facebook　http://www.facebook.com/keiokyuri